

究極の職業奉仕、 究極のロータリアン。

国際ロータリー第 2580 地区

2024-25 年度ガバナー

石川 彌八郎

会長の皆さん、お元気ですか。

先月は「広い意味での職業奉仕」について書きました。つまり、「引退後の職業奉仕はどうなるのか。」です。

結論は、「人間は引退後であろうとも、何らかの手段で社会の役に立っていれば、それを広い意味でとらえれば、職業奉仕をしていると言ってもよい。」でした。それを書いた後、ふと「引退後があれば、就職前もあるよな。就職前の職業奉仕はどうなるのか」。広い意味での、就職前の職業奉仕とは何か。という命題が出てきてしまいました。

人生は、大まかに分けると、就職前、現役、引退後の三段階に分けられます。

就職前と言っても、生まれてから就職するまで、いろいろなステージがあります。赤ちゃんと大学生は違いますよね。ひと塊で語ることは出来ません。その点、引退後の職業奉仕より厄介です。このひと月、そんなことを考えていたので、まずは、それを書きます。

それでは、就職前の広い意味での職業奉仕を考察してみましょう。職業奉仕が「社会の役に立つこと」であるとすれば、それは「人を喜ばすこと」とも換言できます。人の人生は誕生と同時に始まります。そこか



ら社会人になるまでが、就職前の職業奉仕ということになりますが、まずは、オギャーと生まれた赤

ちゃんは職業奉仕が出来ているか。実はできていますと僕は考えてしまいました。なぜなら、赤ちゃんが生まれると、家族、親戚は喜びます。赤ちゃんは生まれただけで人を喜ばせています。1～2か月すると目が見えるようになり、手を左右に振ったりして、その方向に視線が向くと、「見えた、見えた」と大人は大喜びをします。そのうち耳が聞こえるようになります。大人は嬉しそうにパチパチと手をたたきます。その赤

ちゃんとしては、音のしたほうに首を回しただけなのに、周りの大人は「聞こえた、聞こえた」と喜びます。

その後も赤ちゃんフィーバーは続きます。寝返りを打った。ハイハイを



始めた。きわめて一般的な速度で成長しているにも関わらず、周りの大人はいちいち喜びます。つかまり立ちをした、歩き始めた。そんな時には、その歓喜は絶頂ともいえるでしょう。別にそんなに珍しいことではありません、全く普通なことにも関わらず。でも、喜ぶのです。当の赤ちゃんは、何も意図せずに生きているのですが、周りの人は喜ぶのです。つまり、生きているだけで人を喜ばせているのです。いいですよね、赤ちゃんは。しかし僕は、これが究極の職業奉仕ではないかと思ったのです。「あの人を喜ばせよう」「こうすれば、喜んでくれるだろう」などは考えず、下心や見返りを求める気持ちは一切なく、思った通りに、勝



8月8日東京ベイRC公式訪問で
三宅会長、林会員とパチリ

手気ままに、好きなように生きているのですが、実は世のためになり、人を喜ばせていた。そんな人間になれたら最高ですね。夢のようです。人生が楽しくて、



楽しくて、言うことありませんね。究極の職業奉仕と言いましたが、究極のロータリアン、と言ったほうがいいかもしれません。というよりも、言いたいのです。論語にそんなことが書いてありましたね。「心の欲するところに従えども矩を踰えず」（心の欲するままに行動しても道徳の基準をはずれることはない）論語はそこで終わっていますが、ロータリアンはその上をいきます。矩を超えないのは当たり前で、矩を超えないどころか世の役に立っている。第2580地区は、そんな考えを持つ高潔な人たちが集う三千人の団体です。皆さん、積極的に交流してください。

●最近一万円札で有名な渋沢栄一さん。

彼が書いた「論語と算盤」は1916年に出されました。日本のロータリーの発足は1920年です。もう少し早ければ、渋沢栄一さんは、「論語と算盤」ではなく「四つのテストと算盤」という本を書いていたかもしれません。ちょっと、残念。でもそれはあり得ません。渋沢さんが亡くなったのは1931年。四つのテストが提唱されたのは1932年だからです。しかし、生前にロータリーとの接触があった可能性はあります。彼は、ロータリアンだったのかな？いずれにしても、「論語と算盤」の概念は、ロータリーの考えそのものと言ってもよいでしょう。渋沢さんがロータリアンでなかったとしても、たまたまロータリアンでなかっただけで、精神はロータリアンです。



さて、予定では今月は四つのテストについて、僕の考えを書くつもりでしたが、前置き、と云うか、先月の続きで1ページを使ってしまいました。

四つのテストに関しては、詳しくは来月書くことにします。それまで、皆さん、ご自分なりに四つのテストを考えておいてください。ポイントは、日本語と原文です。原文、つまり「英語で読むとその深さがわかる四つのテスト」ということです。

●まず、日本語と原文です。

- 1 Is it the TRUTH?
真実かどうか。
- 2 Is it FAIR to all concerned?
みんなに公平か。
- 3 Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS? 好意と友情を深めるか。
- 4 Will it be BENEFICIAL to all concerned?
みんなのためになるか どうか。

肝になる単語は、まずは、

2と4において「all concerned」の訳が「みんな」であること。

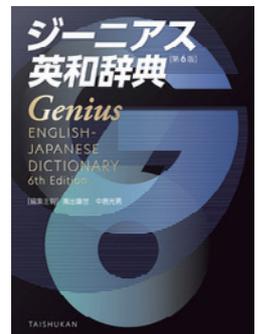
3において「goodwill」の訳が「好意」であること。続いて

1においての「truth」の訳が「真実」であること。例えば、There is no truth in him. を日本語に訳してみたら、考えてください。

「truth」を「sincerity」や「honesty」に置き換えたときの意味や概念はどう変わるか。

僕はそんなことを考えていました。

会長各位、時間が取れたら、四つのテストに出てくる上記の単語を辞書で調べてみてください。英和辞典もいろいろありますが、大修館書店の「ジーニアス英和辞典」なんか、よいかもしれませんよ。



最後に、僕が皆さんに絶対にお伝えしなければいけないことを書きます。ガバナーの役目は、RI会長のメッセージや方針を皆さんに伝えることです。それらは、「ロータリーの友」「My ROTARY」で確認できます。



会長各位はもちろん、昨日入会の新人に至るまで、ぜひとも熟読をお願いいたします。

また、9月は、「基本的教育と識字率向上月間」です。月間テーマを意識してクラブ運営に臨んでください。それでは、また来月。お元気で。



宇都宮 秀雄

所属：東京城東

担当：東京東、東京江東、
東京城東、東京向島、
東京ベイ

私は水処理プラント建設業に従事し、主に下水処理プラントを手掛けています。私たちは「水の守り人」として、水がなければ生きられない人々の命を守る志事に誇りを持っています。汚れを取り除き、再び生活に戻すこの仕事は楽ではありませんが、チーム一丸となって楽しく取り組んでいます。日本は水が豊富に使える幸運な国であり、その当たり前を守り、世界から水で困る人をなくしたいと願っています。

私は墨田区吾嬬町で育ち、神渡良平著『宇宙の響き』に感銘を受けました。ロータリーは人間力を磨く場であり、尊敬する稲盛和夫氏の「謙虚にして驕らず」を座右の銘としています。



長田 祐之

所属：東京東

担当：東京江北、東京葛飾、
東京葛飾東、東京足立、
東京葛飾中央

マイ・ロータリーのプロフィールには「I love Football.」。Facebookの自己紹介では「サッカーは宗教。次の巡礼地は2026年メキシコかアメリカかカナダ」とある様に、東京オリンピックでスタジアム観戦して以来のサッカーフリーク。1994年のアメリカを皮切りにフランス、日韓、ドイツ、(南アフリカを1回休み)ブラジル、ロシア、カタールと4年に一度の世界カップには必ず観戦に駆けつけています。Football大好きなロータリアンの皆さん、地区大会でお会いしたらサッカー談義をしましょう。そして、ぜひ現地で一緒に観戦を！

27年間のロータリー活動を通しての最高のロータリー・モーメントはポリオ予防接種に訪れた3回のインド訪問。妻、息子、娘と予防接種を一緒に体験。ロータリーでなければ出来ない貴重な経験を味わうことが出来ました。



山田 太熙

所属：東京江戸川中央

担当：東京江戸川、東京東江戸川、
東京臨海、東京江戸川中央、
東京臨海東、東京臨海西、
東京臨海南

- ◆仕事：デジタルソリューションベンダー (OA 機器販売&サービス)
- ◆趣味：旅行・ゴルフ・ダイビング・老後、家内と2人で余生を楽しむ場所探し中。
- ◆出身：兵庫県尼崎市
- ◆最高だった旅行先：タイ王国 ピピ島これぞ楽園！
- ◆あなたにとってロータリーとは：オアシス 永遠の友が集う場所 (コミュニティ)
- ◆尊敬する人：父

自分の事よりも相手の事を大切にすれば、人から好かれ、必要とされる人間となり、仕事も自分も周りも皆が幸せになる事を学んだ。その教えとロータリーの奉仕の考えが一致し、今の私があります。



高橋 博文

所属：東京東久留米

担当：東京武蔵野、東京小平、
東京田無、東京東久留米、
東京保谷、東京武蔵野中央

「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りにせよ」…米山梅吉翁の私の大切にしている言葉です。これは「他人への思いやりと助け合い」という米山梅吉翁の願いが込められています。私が思うに、人として他人が何を望んでいるかを推し量る、思いやる、ということは自分の仕事上でも、日々の生活の上でもとても重要なことだと考えております。「他人への思いやりと助け合い」…このような志を、気持ちを持った人々の集まりがロータリアンだと私は思っております。私が考えるロータリーの一番の魅力は「ロータリアンそのもの」だと思います。「私はこの素晴らしい心を持ったロータリアンの皆さまとの触れ合い・お付き合いのなかで学ぶことをとても大切にしております。



比留間 孝司

所属：東京武蔵村山

担当：東京青梅、東京東村山、
東京福生、東京東大和、
東京武蔵村山、東京秋川

私にとってのロータリーとは。

まず、自分のちっぽけな自尊心などを簡単に崩してくれるものでした。様々な職業等のバックグラウンドを持った諸先輩方からは学ぶことばかりです。

そして、私は自分よりずっと若く、そして自分よりはるかに素晴らしい才能を持った方々との出会いにも感謝しています。米山奨学生・ロータリー財団学友・平和フェロー等のロータリーファミリーとの交流は、自分にもまだ何らかの可能性があるので？と思わず勘違い(?)をしてしまうほどの機会の連続でした。

諸先輩方そして若い世代の皆さんからの「心地よい刺激」は、これからも私を「ロータリアン」に近づけてくれると思っています。



緑間 禎

所属：那覇東

担当：那覇、石垣、コザ、
那覇東、名護、
沖縄首里

1にも2にも仕事、仕事に明け暮れた人生

約40年前、会社生業である墓石工場を沖縄県の推薦もあり、中国福建省の政府系石材企業と提携し、5年の悪戦苦闘を乗り越え、合併を経てまいりました。その間、ロータリーの各先輩方のアドバイス、相談等、心よくコミュニケーションを図ることができ、人生経験豊富な高潔なる職業人の集まりであるロータリーに助けられた感謝の人生であります。現在は墓石業界の中での差別化を考え、知的財産権の「特許」を全社員と弁理士先生のご助言で6つの特許を取得することができ、それが会社を支える原動力となっております。私は1999年9月に入会し、25年間1度も例会を欠席したことはなく、出席こそがロータリーに対する感謝だと思っております。故に、尊敬する人は”父“とロータリアン仲間であります。定年制のないロータリー、人生の最大のパートナー仲間と、死するときがロータリーの退会となるよう、楽しみ多きロータリー人生を歩んで行く所存です。



城間 幹夫

所属：宜野湾

担当：那覇西、宮古島、宜野湾、
浦添、那覇南、那覇北

仕事について、私は業務の生産性向上のコンサルタントをしています。具体的にはRPAというツールを活用して繰り返し行う事務業務を自動化して、いつでも、早く、ミスなく行う方法をご提案しています。好きな本について中国古典を好んで読んでいます。特に論語は読む度に新たな気付きと学びを得る事が出来ます。一生の愛読書になると思っています。その他にはエニアグラムという本も好きです。好きな理由は直接私に聞いて下さいね！私にとってロータリーとは人生の学びです。

地域社会や世界に貢献しながら、仕事上では出会えない様な方々と沢山の素敵なご縁を頂く事が出来、様々な経験を通して人生を楽しく過ごしています。

第2580地区クラブ数・会員数

2024年7月31日時点 クラブ数 73RC
正会員数 3043名 (内女性 329名・10.68%)
7月の入会者数 57名 (内女性 11名)
7月の退会者数 11名 (内女性 2名)
7月の増減数 46名

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

- ◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
 - 6回 西岡孝志 【東京紀尾井町】
 - 3回 坂田生子 【東京紀尾井町】
- ◆ポール・ハリス・ソサエティ
 - 平岡直記 【東京新都心】
 - 7月22日まで 敬称略、順不同